

様式第6号その1（第5条関係）

2024年4月16日

（あて先）三鷹市議会議長

会 派 名 立憲民主緑風会

代表者氏名 谷口 敏也

政務活動費実績報告書

令和5年5月23日付け5三議第199号で交付決定を受けた令和5年度分の政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------------------|------------|
| 1 交付決定を受けた額 | 1,188,000円 |
| 2 調査研究の成果及び収支決算書
別紙のとおり | |



様式第6号その2（第5条関係）

調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収 入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	1,188,000	27,000円×11カ月×4人
2 その他の収入	0	
計	1,188,000	

(2) 支 出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	1,800	上級救命再講習テキスト代（1名分）
2 調査旅費	204,160	会派視察に係る旅費、宿泊費など
3 資料作成費	0	
4 資料購入費	0	
5 広報費	877,498	会派広報紙の印刷代、配布委託料など
6 広聴費	0	
7 事務費	98,610	事務用品費、事務機器使用料など
計	1,182,068	

差引額（収入－支出）

5,932（残額分 5,932 円は市へ返還）

立憲民主緑風会 令和5年度調査研究の成果

《予算要望(政策提言)と、政務活動及び広報活動に関わる取り組み》

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症について、感染症の位置づけが2類から5類へと引き下げられたこともあり、コロナ禍以前に行っていた、市内の各種団体の方々とのヒアリングについても、以前の様に多くの団体の方々と、対面にて実施することが出来ました。

合わせて、各議員がそれぞれ担当する地域で行っている「ミニ集会」や、毎朝行っている駅頭での演説において、市民の方々から多くのご意見やご要望を頂いてきました。

それら各種団体からの声、市民の皆様からの声を取りまとめて、立憲民主緑風会としての予算要望（政策提言）を作成し、市役所の予算編成会議が始まる時期に合わせて、河村市長に提出いたしました。

また、これまで予算要望をしてきた政策を含めて実現させるべく、各議員が市議会の各定例会において「市政に関する一般質問」や、「令和4年度決算代表質疑」、「令和6年度予算代表質疑」を行い、会派の政策を訴えました。

令和5年度に実現させた「朝の学校開放事業」や「带状疱疹ワクチン接種補助事業」などや、令和6年度予算の中で実現予定となっている「小・中学校の給食費無償化」や「三鷹幼稚園跡地の利活用」などについては、立憲民主緑風会の1年間の政務活動報告として、令和5年度末に「活動レポート」を作成し、市内全域へのポスティングと新聞折込みを実施致しました。

《会派視察》

令和5年10月30日(月)から31日(火)にかけて、山形県の遊佐町と鶴岡市に会派で行政視察で伺いました。

遊佐町では「少年町長・少年議員公選事業」について学ばせて頂きました。

事業の始まりは平成15年(2003年)で、中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促すことなどを目的に実施されました。

少年議会ではこれまでに様々な政策を立案し実現させてきました。第2期では遊佐町のイメージキャラクター「米(べえ)〜ちゃん」が誕生しました。第9期から第11期にかけては特産品の開発が行われ、「芋煮コロッケ」や「もちっと米〜カレーパン」が実際に販売されました。また、7回にわたり、「ミュージックフェスティバル」と呼ばれる音楽イベントが開催され、ポスター・看板などの準備や宣伝活動、当日の司会進行・受付などの運営まで全てを少年議会のメンバーで行いました。

政策ではなく、少年議会が町へ要望し実現させたものもあります。田んぼ道を自転車で帰る際に暗くて危ないということを町に訴え、街路灯を設置させました。また、同じ

く道路関連では防雪柵やガードレールも設置させました。少年議会らしい要望としては、若者の居場所づくりとして、学生が声を出して教えあえる場所となっている「スタディースペース」を町立図書館内に設置したことが挙げられます。これらの要望を実現させるための予算については、少年議会の予算とは別の町の予算を使って実施しています。

街路灯やスタディースペースの設置など、子ども達からの要望を町が実現させるとともに、子ども達自身が考える政策（キャラクターや特産品の政策など）を実行するための予算を、当初予算に組み入れることにより、少年議員たちは自分たちの考えたことが実現できることを実感しています。また、この事業の実施により、若い人たちの実際の選挙の投票率も上がっています。この様な事業を三鷹市でも実現出来るように、今後も活動して参ります。

一方、三鷹市では市政施行 50 周年記念事業として「子ども議会」を実施しましたが、その内容は、本会議場を使って、子どもたちが市長に一般質問を行うという、1 日だけのイベント的なものでした。今年度「子ども基本法」が施行されたことを契機に、三鷹市としても子どもたちから意見を伺い、その意見を市の政策に反映させる仕組みづくりが必要だと考えていますので、引き続き訴え続けていきます。

鶴岡市では「空き家バンク事業」を学ばせて頂きました。

鶴岡市は、NPO 法人つるおかランド・バンクと鶴岡市が協働して、10 年前から空き家の活用事業に取り組んでいます。

特徴的な取り組みは、空き家、狭あい道路などからなる密集住宅地を、生活しやすい環境に整え、小規模ながら街並みを再生させる取り組みです。

三鷹市としても少なからず空き家は発生していますし、何より狭あい道路も多いことから、鶴岡市の様な空き家を活用した地域再生事業の必要性を訴えたところ、令和 6 年度の政策の中に、三鷹市空き家等利活用促進協議会（仮称）による、空き家活用マッチング事業が盛り込まれました。